

日本唾液腺学会 理事会決定事項（平成30年6月）

報告事項

（1）学術集会アナウンス先 約400件

医科系大学(120件)、医学部病理学講座病理診断科(80件)、基礎系大学(55件)、歯科系大学(45件)、学会関係(30件)、役員他(70件)に、ポスターを送付して、演題登録、学術集会への参加を呼びかけることとした。

審議事項

（1）第63回日本唾液腺学会学術集会開催について

次に示した内容が審議され、承認された。

- 1) 日時：2018年12月8日（土）
- 2) 場所：文京学院大学 本郷キャンパス
- 3) 演題募集：平成30年7月1日（金）～ 9月17日（月）

（2）学術集会の企画立案について

第63回学術集会は、会長、副会長が中心となり企画・運営をおこなう。

会長 岡本 美孝(千葉大学大学院 医学研究院耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学 教授)
副会長 天野 修 (明海大学 歯学部形態機能成育学講座 解剖学分野 教授)

・学術集会の企画について

（1）特別講演

「がんエピジェネティクスの重要性と研究の現状」

講師：金田篤志（千葉大学大学院医学研究院 分子腫瘍学 教授）

（2）シンポジウム 耳下腺腫瘍の新たな治療戦略

1. 「耳下腺腫瘍の画像診断の up-date」

堀越琢郎（千葉大学医学部附属病院放射線科 診療講師）

2. 「耳下腺腫瘍の術前病理診断（超音波ガイド下 FNA, CNB）」

茶藪英明、岡本美孝、國井直樹

（千葉大学大学院医学研究院耳鼻咽喉科頭頸部腫瘍学 講師）

3. 「耳下腺癌の病理診断：最近の進歩」

長尾俊孝（東京医科大学人体病理学分野 主任教授）

4. 「耳下腺癌に対する新たな化学療法」

多田雄一郎（国際医療福祉大学三田病院頭頸部腫瘍センター 准教授）

（3）学会奨励賞 選考方法について

1) 選考方法

選考委員が演題に順位を付与し、その平均値の最も少ない演題を学会奨励賞候補とする。ただし、甲乙つけがたいものについては同列とし、その後の順位をずらしていく。

選考委員が共同演者になっている場合は、その演題を外して順位をつける。

2) 選考委員

評議員の中から「基礎的研究」10名、「臨床的研究及び病理診断学的研究」10名を任命する。

以上